

該当部分を○で囲む

一級
二級
木造 建築士事務所登録申請書
(第一面)

正 副

記入例

- 欄は、記入しないでください。
- のある欄は、該当する□の中にレ印を付けてください。
- 登録年月日及び登録番号の欄は、更新の登録を受けようとする場合に記入してください。

※手数料欄				
平成	年	月	日	手数料納入済
				一級 18,000 円
				二級・木造 18,000 円

一級 二級 木造	建築士事務所	申請書及び添付書	愛媛株式会社 代表取締役 伊予 太郎		法人の場合は代表者印 (法務局への届出印)	
	平成 年 月 日	登録申請者氏名	伊予 太郎			
愛媛県指定事務所登録 一般社団法人 愛媛県建築士事		様	(署名)			
建築士事務所	ふりがな 氏名	愛媛株式会社 ○○ 建築士事務所				
	郵便番号も記入	〒790-0002				
	所在地	松山市二番町4丁目1-5 建築士会館3階 電話(089)945-5200				
一級建築士事務所、二級建築士事務所又は木造建築士事務所の別		○○建築士事務所				
登録申請者	個人であるとき	ふりがな氏名	建築士の資格	<input type="checkbox"/> 一級建築士 <input type="checkbox"/> 二級建築士 <input type="checkbox"/> 木造建築士 <input type="checkbox"/> なし		
	法人であるとき	住所	〒			
		ふりがな氏名	愛媛株式会社			
		事務所所在地	〒790-0002 松山市二番町4丁目1-5 建築士会館3階			
役員の氏名及び役名		代表取締役 伊予 太郎		定款にある、決算時期を記入 4 月		
管理する建築士事務所を	ふりがな氏名	いよ はなこ 伊予 花子	登録番号	第○○○○○号		
	一級建築士、二級建築士又は木造建築士の別	<input type="checkbox"/> 一級建築士 <input type="checkbox"/> 二級建築士 <input type="checkbox"/> 木造建築士	登録を受けた都道府県名(二級建築士又は木造建築士の場合)	二級・木造のみ ○○県		
	管理建築士講習を修了した年月日	平成○○年○○月○○日	修了証番号	○○○○		
現及び登録番号	いずれかにレ印	平成○○年○○月○○日	愛媛県知事登録第○○○○号	※審査		
新更規新	※登録年月日及び登録番号	平成 年 月 日	愛媛県知事登録第 号	更新申請の場合のみ、事務所の現在の登録年月日と登録番号を記入		

記入例

振替
払込
請求書
兼受領
証貼付
欄

※注意※

払込受領書（領収日付印があること）の原本を、申請書の副本の方へしっかりと貼り付けてください。

<申請書の正本へは払込受領書(コピー)を添付して下さい。>

なお、申請書に貼り付けた払込受領書（原本）は副本をお返しするときと一緒にお返しいたします。

記入例

(第二面)

所属建築士名簿

[記入注意]

全ての所属建築士についてこの書類に記載しきれない場合は、備考の「有」の□の中にレを付けたうえで、この書類に記載しきれない部分を別紙に記載して添えてください。

(ふりがな) 氏名	一級建築士 二級建築士 の別 木造建築士 (二級・木造建築士は登録を 受けた都道府県名を記入)	建築士免許の 登録番号	建築士法第 22 条の 2 第 1 号から第 3 号に 定める講習修了年月日
いよ はなこ 伊予 花子	一級建築士	00000	H26.3.13
えひめ たろう 愛媛 太郎	一級建築士	00000	H25.4.3
しんぐう いっさ 新宮 一茶	一級建築士	00000	H27.3.13
どうご いずみ 道後 泉	二級建築士 (愛媛県)	00000	H25.12.13
<p>当該事務所に所属し設計・工事監理等の業務に携わっている建築士を すべて記載してください。(管理建築士も含む。) 一級建築士と構造一級・設備一級の資格をそれぞれ記載してくださ</p>			
(ふりがな) 氏名	構造一級・設備一級 建築士である場合に あってはその旨	構造一級・設備一級 建築士証の交付番号	建築士法第 22 条の 2 第 4 号・第 5 号に 定める講習修了年月日
いよ はなこ 伊予 花子	構造一級建築士	00000	H25.3.13
しんぐう いっさ 新宮 一茶	設備一級建築士	00000	H25.11.13
(備考)	<p>有・無の□内に✓を入れてください。 またこの(第二面)にすべての建築士が記 載できない場合は 有の □内に✓を入れ、 この書類をコピーして使用してください。 この(第二面)で記載できる場合は無の □内に✓を入れてください。</p>		<p>一級建築士 3 名 二級建築士 1 名 木造建築士 名 構造設計一級建築士 1 名 設備設計一級建築士 1 名</p>
別紙 有 <input type="checkbox"/>	計		
無 <input checked="" type="checkbox"/>			

添付書類（ロ）

記入例

略 歴 書

登録申請者
管理建築士

〔記入注意〕

1. 職歴の欄は、最近のものから順次記入してください。
2. 勤務先の欄は、自家営業の場合には自営と記入してください。

管理建築士と登録申請者とが別の場合は=線を記入

ふりがな氏名	いよ たろう 伊予 太郎	生年月日	S
建築士の資格	一級建築士 <input type="checkbox"/> 木造建築士 <input type="checkbox"/> 二級建築士 <input checked="" type="checkbox"/> な し <input type="checkbox"/>	登録を受けた都道府県名 (二級建築士又は木造建築士の別)	二級・木造のみ 〇〇県
登録番号	第 〇〇〇〇〇 号	個人印(認印)	
学歴	年 月 日	学校名及び学科名	卒業・終了・中退の別
	S〇〇年〇月	〇〇高校〇〇科	卒業
職歴	期 間	勤 務 先	地 位 ・ 職 名
	年 月～年 月		
	H〇〇年〇月～現在	愛媛株式会社	代表取締役
	S〇〇年〇月～ H〇〇年〇月	株式会社 〇〇 〇〇支店	営業部長
S〇〇年〇月～ S〇〇年〇月	無 職		
S〇〇年〇月～ S〇〇年〇月	〇〇建築設計	営業担当	

いずれかにレ印

学科まで記入

学校卒業(修了)以降空白期間のないよう記入

添付書類（ロ）

記入例

略歴書〔管理建築士〕

〔記入注意〕

1. 職歴の欄は、最近のものから順次記入してください。
2. 勤務先の欄は、自家営業の場合には自営と記入してください。

ふりがな 氏名	いよ はなこ 伊予 花子		生年月日	S〇〇年〇月〇日
	一級建築士 <input checked="" type="checkbox"/> 木造建築士 <input type="checkbox"/> 二級建築士 <input type="checkbox"/>		登録を受けた 都道府県名 (二級建築士 又は木造建築 士の別)	二級・木造のみ
建築士の資格	登録番号	第 〇〇〇〇〇 号		
学歴	年 月 日	学校名及び学科名	卒業・終了・中退の別	
	S〇〇年〇月	〇〇高校〇〇科	卒業	
職歴	期 間	勤 務 先	地 位 ・ 職 名	
	年 月～年 月			
職歴	H〇〇年〇月～現在	愛媛株式会社	管理建築士	
	S〇〇年〇月～ H〇〇年〇月	株式会社 〇〇 〇〇支店	設計部 所属建築士	
職歴				

個人印(認印)

印

いずれかにレ印

学科まで記入

学校卒業(修了)以降空白期間のないよう記入

記入例

誓約書

登録申請者（営業に関し成年者と同一の行為能力を有しない未成年者でその法定代理人（法定代理人が法人である場合においては、その役員を含む。）及び登録申請者が法人である場合における当該法人の役員を含む。）が下記のいずれにも該当しないことを誓約します。

平成〇〇年〇〇月〇〇日

愛媛株式会社

代表取締役

登録申請者氏名 伊予 太郎

印

愛媛県指定事務所登録機関
一般社団法人 愛媛県建築士事務所協会 様

申請書に押印した印を使用

記

- 1 破産手続開始の決定を受けて復権を得ない者
- 2 成年被後見人又は被保佐人
- 3 禁錮以上の刑に処せられ、その刑の執行を終わり、又は執行を受けることがなくなった日から5年を経過しない者
- 4 建築士法の規定に違反して、又は建築物の建築に関し罪を犯して罰金の刑に処せられ、その刑の執行を終わり、又は執行を受けることがなくなった日から5年を経過しない者
- 5 建築士法第9条第1項第4号又は第10条第1項の規定により一級建築士、二級建築士又は木造建築士の免許を取り消され、その取消の日から起算して5年を経過しない者
- 6 建築士法第26条第1項又は第2項の規定により建築士事務所について登録を取り消され、その取消の日から起算して5年を経過しない者（当該登録を取り消された者が法人である場合においては、その取消の原因となった事実があった日以前1年以内にその法人の役員であった者でその取消の日から起算して5年を経過しないもの）
- 7 建築士法第26条第2項の規定により建築士事務所の閉鎖の命令を受け、その閉鎖の期間が経過しない者（当該命令を受けた者が法人である場合においては、当該命令の原因となった事実があった日以前1年以内にその法人の役員であった者でその閉鎖の期間が経過しないもの）
- 8 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第6号に規定する暴力団員又は同号に規定する暴力団員でなくなった日から5年を経過しない者（第8号において「暴力団員等」という。）
- 9 暴力団員等がその事業活動を支配する者
- 10 建築士事務所について建築士法第24条第1項及び第2項に規定する要件を欠く者
- 11 禁錮以上の刑に処せられた者（3に該当する者を除く。）
- 12 建築士法の規定に違反して、又は建築物の建築に関し罪を犯して罰金の刑に処せられた者（4に該当する者を除く。）

- 〔記入注意〕
- 1 登録申請者が法人である場合には、法人の代表者の氏名を併せて記載してください。
 - 2 3から9まで、11又は12のいずれかに該当するときは、該当事項を抹消し、かつ、上覧にその事実をできるだけ詳細に記入してください。

第三号書式（第八条関係）

一級建築士住所等の届出

		届出日		平成	年	月	日				
ふりがな	えひめ たろう	生年月日	昭和	〇〇	年	〇	月	〇	日		
氏名	愛媛 太郎		平成						性別		
本籍	愛媛県松山市〇〇〇〇										
ふりがな	えひめけんまつやましさんばんちょう										
住所	〒790-0003 愛媛県松山市三番町〇〇〇〇										
登録番号	第	〇〇〇〇〇〇			昭和〇〇		年	〇〇	月	〇〇	日
業務の種別	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 建築設計 (2及び3を除く) <input type="checkbox"/> 2. 構造設計 <input type="checkbox"/> 3. 設備設計 <input type="checkbox"/> 4. 積算 <input type="checkbox"/> 5. 工事監理又は工事の指導監督 <input type="checkbox"/> 6. 現場管理 <input type="checkbox"/> 7. 調査又は鑑定 <input type="checkbox"/> 8. 手続代理 <input type="checkbox"/> 9. 敷地選定等の企画 <input type="checkbox"/> 10. 研究又は教育 <input type="checkbox"/> 11. 行政 <input type="checkbox"/> 12. その他										
勤務先	名称	愛媛株式会社〇〇建築士事務所									
	所在地	〒790-0002 愛媛県松山市二番町4丁目1-5 電話 089-945-5200									
[記入注意] <ol style="list-style-type: none"> 1. 業務の種別及び勤務地の欄は、建築に関する業務に従事しているときに記入して下さい。 2. 業務種別欄は、該当する数字を○で囲んで下さい。2種以上の業務に従事しているときは、主に従事しているもの一つを○で囲んで下さい。 3. 建築士事務所に勤務しているときは、その事務所の開設者名を勤務先の名称の欄に併記して下さい。 											

第4号様式

氏名の最初の3文字
をカタカナで記入

見出し欄	ド	ウ	ゴ	二級 木造	建築士住所等の届出			届出日	平成	年	月	日	
ふりがな	どうご いずみ			生年月日	昭和 平成	〇〇	年	〇〇	月	〇〇	日	性別	女
氏名	道後 泉												
本籍	愛媛県松山市〇〇〇			市町村名まで記入									
ふりがな	えひめけんまつやましさんばんちょう			現在住んでいる場所									
住所	〒790-0003 愛媛県松山市三番町4丁目〇-〇			建築士免許の登録番号 及び登録年月日									
登録番号	愛媛	都道 府県	第	〇〇〇〇	方	登録年月日	平成	〇〇	年	〇〇	月	〇〇	日
業務の種別	1. 建築設計 (2及び3を除く) 2. 構造設計 3. 設備設計 4. 積算 5. 工事監理又は工事の指導監督 6. 現場管理 7. 技能労務 8. 調査又は鑑定 9. 手続代理 10. 敷地選定等 12. 行政 13. その他												
勤務先	名称	愛媛株式会社〇〇建築士事務所											
	所在地	〒790-0002 愛媛県松山市二番町4丁目1-5 電話 089-945-5200											

主に従事しているもの1つに印

現在の勤務先を記入

[記入注意]

1. 業務の種別及び勤務地の欄は、建築に関する業務に従事しているときに記入して下さい。
2. 業務種別欄は、該当する数字を○で囲んで下さい。2種以上の業務に従事しているときは、主に従事しているもの一つを○で囲んで下さい。
3. 建築士事務所に勤務しているときは、その事務所の開設者名を勤務先の名称の欄に併記して下さい。
4. 見出し欄には、氏名の最初の3音をカナで記入して下さい。
5. 本籍欄は、市町村名まで記入して下さい。